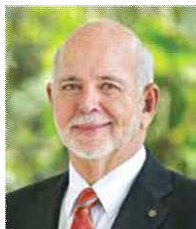




4月のロータリーレートは1ドル=110円 「My Rotary登録状況：11/39≒28%、目標50%」

今年度のテーマ



2018-19年度RI 会長
バリー・ラシン氏
East Nassauロータリークラブ
バハマ（ニュープロビデンス島）



2018-19年度ガバナー
若林啓介氏（富山RC）



例会便り

第 955 回
3月 28 日
ホテル日航金沢 5 F
例会出席 21/39 53.85 %

助田忠弘 S.A.A. 2月例会出席率 67.15 %

点 鐘

1. ロータリーソング
『 四つのテスト 』
2. 武藤清秀会長挨拶



《食 事》

3. ゲスト・ビジターのご紹介
ゲスト・ビジター なし

4. 幹事報告・委員会報告

〔幹事報告〕井上正雄幹事：①本日、金沢8ロータリークラブの幹事会に出席しまして、そこで決まったことをご報告します。これまで事務局で事前準備していたビジターカードについて7月より廃止することになりました。7月以降に金沢市内のクラブにメークアップする際にはご自身でビジターカードにお名前を書いていただくこととなりますのでお願いします。②来週の例会終了後、理事会を行います。ご出欠を事務局までお願いします。③4/21に行われる「地区研修・協議会」の出席対象の方は本日中に
出欠をお知らせください。

〔委員会報告〕

武藤清秀会長：奉仕プロジェクト委員会の野村委員長が退会されていますので、代わってご案内いたします。今年度予算の中で、支援したくても年度始めにはまだわからないということで、社会奉仕「その他」予算で10万円をとってあります。会員の方が関わっている中で支援したい団体等がありましたら4月・5月の理事会までに私の方へお願いします。また、会員組織委員会の予算でも新会員候補者を毎月2名まで招待する枠もありますので、あと3ヶ月となりますがお気軽に例会にご招待していただければと思います。

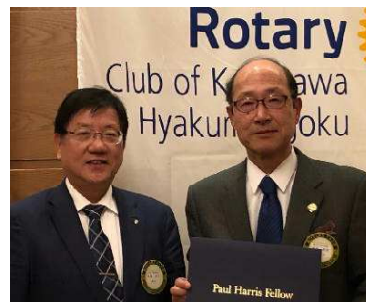


布施美枝子クラブ管理運営委員長：炉辺会合についてご連絡します。会場は3ヶ所となりまして、浦田会員グループは浦田ビルの1室、大路会員グループは橋場町の「幸兵衛寿し」、仲島会員グループは表会員のお宅で行なう事が決まりました。クラブから出る予算は一人あたり5千円、新会員候補者を招待いただくことも可能です。



5. ニコニコBOX紹介 ¥5,000- 本年度¥431,100- 残高¥4,462,283-
 武藤清秀会長：皆さん今晚は。大路さんクラブフォーラムよろしくお願ひします。
 仲島康雲会員：次年度大路さんを中心にみな様の活動よろしくお願ひします。

6. ロータリー財団より武藤清秀会長へ\$1000寄付に係る
 ポールハリスフェロー賞状とバッジの贈呈



7. クラブフォーラム
 進行：東海林副幹事



下記について大路会長エレクトより報告があり、次年度クラブ組織（案）について承認された。

- 1) 会長エレクト研修セミナー（PETS）の報告について
- 2) 次年度基本方針について
- 3) 次年度クラブ組織（案）について

点 鐘

パストガバナーからの手紙 382回 2019. 4. 4 炭谷 亮一
 地球温暖化とエネルギーミックス



第1章 地球温暖化（その2）

さて生命が存在するためには、水と温暖な気候が不可欠である。そして惑星の気候を決定づける表面温度は、太陽からのエネルギーと地球が宇宙空間に放出するエネルギーの差が一定の幅で釣り合うことに加え、惑星表面を覆う大気の温室効果ガスの量が、表層の環境をコントロールするうえで決定的に重要な役割を果たしている。

現在、宇宙科学の世界で、太陽系の惑星の中で生命の存在が期待されているのは、地球の他に火星のみである。それは火星には過去に水がたくさん存在していたらしいからであり。しかし火星は小さい（地球の質量の10分の1）ので重力が弱く、長期間大気を引力で引きつけておけなかったため、宇宙空間へ放出し大気は失われてしまった。当然二酸化炭素などの温室効果ガスも失われたので、火星の温度は下がり、水は液体の状態ではいられず凍ってしまったと考えられている。かなり前から液体の水らしきものが流れた痕跡が観測されていた。おそらく火星の水はとても塩辛いだろう。塩分濃度が高ければ融点が下がるので、今のマイナス50℃位の気温の火星の地下や極地に、水は存在している。生命の存在が期待されるゆえんである。バクテリア程度は存在している可能性はある。

ところで地球が出来た頃の太陽は暗かった。永遠に変わらないものはこの世には存在しない。それは空に輝く太陽だって地球だってこの世だけでなく宇宙だって刻々と変化している。実は太陽は少しずつ明るくなってきている。つまり地球に届くエネルギーだって次第に増してきている。だからあと10億年もすれば地球はあぶられて、大気も水もなくなりカラカラに乾いた星になってしまう。従って約10～25億年後には生命体はすべて絶滅する運命にある。

ここでは過去に目を向けると、初期の地球への太陽の光量は今の30%位少なかったと考えられている。

当然太陽が暗いということは地球へのエネルギーの到達は少なく、従って初期のマグマオーシャン地球を除けば、太陽が暗いのみならず少なくとも40億年以前の地球は凍り付いていたはずだ。ところが遅くとも38億年前には地球には海があった。地球にはそれ位の初期から凍り付いてはいなかったのだ。

この不思議な現象を有名な惑星科学者であった（故）カール・セーガンは「暗い太陽のパラドックス」と呼んだ仮説を完成させていた。このパラドックスは、主に大気中の二酸化炭素の量が多かったことで、温室効果が強く働き、太陽光の不足を補っていたと推測した。他にも、昔は陸地が少ないため、太陽光を吸収する海が広がったことを理由に挙げる人もいる。

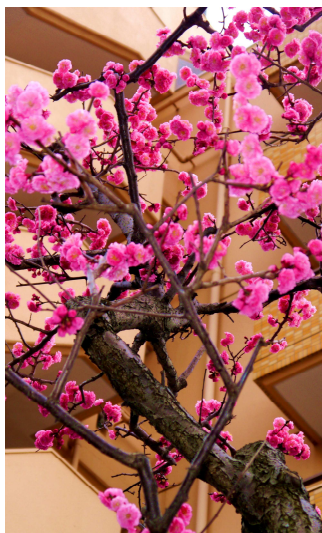
また、陸地が少なければ大気中の細かい粒子も少なく、すると粒子の周りに水が凝集しないので、太陽光を反射する雲が少なかったという推測もある。

まあ、いろんな要因が絡んでいたのだろうが、初期の地球には現在の数百倍もの二酸化炭素が存在したと考えられている。従って今日増加したと言われている大気中の二酸化炭素はわずか400ppm（0.04%）にしかすぎず、地球は40億年間に大気中の二酸化炭素の量を徐々に減少させてきた。今現在は地球の歴史上最も少ない二酸化炭素量だと言えなくもない。



クラブ例会予定

- 4/4 アクタス連載ニコニコ 100歳
ナビゲーター富田勝郎様卓話
／理事会
- 4/11 金沢北RCとの合同例会
於：松魚亭 18:30～
- 4/18 第2回炉辺会合
- 4/25 オリエンテーション#3
宮永満祐美会員
- 5/2 **休会**
- 5/9 会場変更例会 於：浦田クリニック
/ スクール金沢 「DOCTOR'S
CREATION CAFE 87」
- 5/16 映画監督 森義隆様卓話



桃とツツジ満開だが3/24 4/2には淡雪